

災害

山形は地震の危険地域!?

市域に位置する断層帯について、平成14年5月に山形盆地断層帯に関する評価が公表され、平成19年8月には、これまでの評価を見直した長期評価が公表されています。

公表時期	位置	長さ	断層のタイプ	断層の傾斜
平成19年8月	北部	大石田町～寒河江市	西側隆起の逆断層	西傾斜
	南部	寒河江市～上山市	西側隆起の逆断層	西傾斜
平成14年5月	大石田町～上山市	約60km	西側隆起の逆断層	西傾斜

断層帯	平均活動間隔	地震の規模	地震発生確率(今後30年以内)	地震によるずれ(上下成分)
北部	約2,500～4,000年	約M7.3	0.002～8% (「高い」部類に入る)	2～3m程度
南部	約2,500年	約M7.3	1% (「やや高い」部類に入る)	2～3m程度
前回公表	およそ3,000年	約M7.8	0～7% (「高い」部類に入る)	4～5m程度

自分たちの地域は自分たちで守る

大災害発生直後は、建物倒壊、道路破損などにより公的機関による防災活動が十分に対応できないことが考えられます。こうした時に大きな力を発揮するのが、“自分たちの地域は自分たちで守る”という連帯意識で自主的に結成する「自主防災組織」です。

阪神淡路大震災では、生き埋めになったり建物に閉じ込められたりした人々のうち、約95%は自分自身【自助】または家族や隣人【共助】によって救助されました。

自主防災組織を作るには…



災害対策は地域のみんで

災害時

救助

要援護者
避難支援
※高齢者・障がい者等
への手助け

初期消火

救出

平常時

防災知識の普及

自主防災組織の活動は

災害時を想定した訓練

建物の安全や資器材点検

山形市での自主防災組織設立率
(平成26年8月末現在)

設立町内会数421÷全町内会数549=76.7%
このうち、市街地は29.5%・地区は85.1%で、市街地での積極的な設立が望めます。
自主防災組織数は321団体です。
(複数の町内会で一つの組織を結成する場合があるため)